

日時：平成30年11月15日（木）・16日（金）

場所：栗東芸術文化会館 大ホール

○特別講演 「スポーツとアンチ・ドーピング」

～クリーンなアスリート、スポーツ環境を目指して～

講師 株式会社 attainment 代表取締役 室伏 由佳先生
(女子円盤投、女子ハンマー投の日本記録保持者)

円盤投、ハンマー投の話から入り、怪我をした現役時代の話、ドーピングのいろんな症例を話されました。話には聞いていましたが、開封したペットボトルの飲み物をテーブルに置いて、席を立った場合は、飲みませんと言われました。動画がうまく映らなかったのですが、ロシアが国家ぐるみで行ってきたとされる大規模なドーピング疑惑を暴く衝撃ドキュメンタリー『イカロス』をぜひ見てください。と言われました。

○講義 I 「学校環境衛生基準の一部改正と学校環境衛生活動」

講師 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
健康教育調査官 小出 彰宏先生

学校環境衛生基準の一部改正及び学校環境衛生管理マニュアルの改正点を講義されました。

○ 課題別協議

【課題1】医薬品に関する教育

医薬品の適正使用に関する教育の進め方や当面する諸問題への対応

アンチ・ドーピング活動を通しておこなうくすり教育～2024 滋賀国スポに向けて～

滋賀県薬剤師会 学校薬剤師部会委員 赤羽 薫先生

滋賀県薬事情報センターに協力を依頼しプレゼン用講師資料を作成されたそうです。県立高等学校9校に講義を行い、アンケート調査を発表されました。質疑応答で、熊本県薬剤師会がわかりやすいパワーポイントを作成中という事がわかりました。

健康を自己管理できる生徒の育成～医薬品に関する教育を通じて～

香川県立高松北中学校・高等学校 養護教諭 黒田 友香先生

生徒保健委員会活動の広報活動で、健康診断時に「自分の健康は自分で守る」というプレゼンテーションを実施したり、文化祭では「こころの調剤薬局」を開催し、全生徒に健康について関心をもってもらおうと「おくすりクイズ」や「こころの処方箋」及び『健康って?』の問いに答えるボードを持ったクラスメイトを撮影し、写真をつないでDVDを制作された事を発表された。

【課題2】喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育

喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方や当面する諸問題への対応

薬物乱用防止教室の留意事項～薬物事犯の家族の前での開催、薬物事犯がもたらす影響～
奈良県薬剤師会 理事 学校薬剤師部会部会長 田原 宏一先生
当日、養護教諭から保護者が薬物事犯で収監されている生徒がいる事を聞かされたそうです。事前の打ち合わせが大切ということを感じられたそうです。

地域の関係機関・団体との連携による栗東市の取組～「栗東スタンダード」を目指して～
滋賀県栗東市教育委員会学校教育課 課長補佐 中川 謙二先生
学校薬剤師との連携による「くすり教育」や健康増進課・地域医療（禁煙外来担当医師）との連携による「喫煙防止教室」の事例を話された。

【課題3】学校環境衛生活動

「学校環境衛生基準」に基づく学校環境衛生活動の進め方や当面する諸問題への対応

学校環境衛生コンクールで見えてきたもの～学校における創意工夫～
滋賀県薬剤師会 学校薬剤師部会 副部会長 中本 貴士先生
滋賀県における学校環境衛生コンクールの取り組みについて話された。

自ら快適な環境づくりができる生徒の育成～生徒が主体となる環境衛生活動を目指して～
岐阜県立長良高等学校 養護教諭 岡崎久美子先生
生徒保健委員が、日常点検を実施しています。又、保健委員会で二酸化炭素濃度の実態調査をして、段ボールで教室の模型を作製し、線香の煙を空気の汚れに見立て、窓の開け方を研究されたそうです。入学時に将来看護師になりたい人に、保健委員を勧めているそうです。

【課題4】学校保健委員会

学校保健委員会の活性化や当面する諸問題への対応

近畿地区学校薬剤師による学校保健委員会に関するアンケート調査から見た現状と課題
大阪府薬剤師会常務理事 堀越 博一先生
①開催されていますか②案内は来ますか③出席されますか④行かなかった理由⑤開催頻度⑥開催時間⑦参加者⑧実施内容⑨講演会の内容⑩意見 の簡単な調査なので、中国ブロックでも調査したらどうかなと思いました。

薬剤師と連携してすすめる効果的な健康教育をめざして
～生徒保健委員会から学校保健委員会の活性化へ～

滋賀県近江八幡市立八幡東中学校養護教諭 中村小百合先生
健康フォーラムを企画され、その中でいくつかの講座を学校医・学校歯科医・学校薬剤師に講師として協力してもらっているそうです。学校薬剤師は「薬立つはなし」をされたそうです。

平成31年度は平成31年10月17日（木）・18日（金）に佐賀市で開催される予定。